

2018年4月22日

福音書からのメッセージ

わたしは良い羊飼いです。わたしは自分の羊を知っており、羊もわたしを知っている。（ヨハネによる福音書 10 章 14 節）

今週の福音書には「わたしは良い羊飼いです」という言葉がありました。羊と羊飼いと云っても、日本ではなかなかピンとこないかもしれません。しかしその当時の人たちにとっては、とても身近なものでした。

羊は弱い動物です。目が悪く、自分の力で草が生えている場所やオアシスにたどり着くことができません。また臆病で、ちょっとした物音でびっくりして逃げ回ってしまう。集団で行動しますが、狼や盗賊にいつも狙われています。そのような弱い羊たちには、羊飼いが重要です。

羊飼いの仕事は、迷子になった羊がいたら探し出し、病気の羊がいたらお世話をし、お腹が空いた羊がいたら食べ物のあるところに導き、いつまでも元気であるようにと養い、震える羊に寄り添い慰めます。そして「良い羊飼いです」は、敵が来たら命がけで羊を守ります。

イエス様は「わたしは良い羊飼いです」という言葉で、わたしたちとそのような関わり方をすると宣言されているのです。イエス様は神さまから離れてしまったわたしたちを尋ね求め、神さまの元に戻させ、傷ついたわたしたちをその手で包みこみ、わたしたちが弱ったときには強くしてくれます。そしてわたしたちが神さまの前に生きる者となるように、命を捨ててくださるのでした。

わたしたちは弱い羊です。自分の力では生きていくことのできない、しかしそんなちっぽけな羊を大切に思い、わたしたちを導いてくださる方の存在に感謝したいと思えます。羊であるわたしたち、そのわた



したちをしつかりと守ってくださる良い羊飼いの姿をイメージしてください。そして自分

の心が不安に陥った時には、寄り添ってくださるイエス様の存在を思い起こしてほしいと思えます。

良い羊飼いです。イエス様は自分の羊を知っており、羊もイエス様のことを知っているという書面には、愛するというニュアンスも含まれます。イエス様はわたしたちを知っている、つまり愛しているから、わたしたち一人ひとりのことが大切なのです。だから羊飼いですとして探し出し、導いて、養ってくださるのです。

そしてわたしたちは、イエス様の声を聞いていきたいと思えます。イエス様の導きを信じて、歩んでいきたいと思えます。そのためにわたしたちは、聖書を読み、祈るのではないのでしょうか。良い羊飼いです。イエス様は、いつもわたしたちに語り掛けてくださいます。その声に聞きましょ。わたしが、あなたの良い羊飼いです。わたしがあなたを生かす。わたしがあなたと共にいる。

その約束を、イエス様はわたしたちに語り続けておられます。

桃山基督教会

〒612-8039

京都市伏見区御香宮門前町 184

TEL/Fax 075-611-2790

メール momoyama.kyoto@nssk.org

<教会ホームページ>

<http://momoyama.hannari.com/>